

Dグループ

リニューアルオープンしたサンシャイン水族館に行ってきました。

10月18日にDグループの外出で、「サンシャイン水族館」に行ってきました(^ ^)
 素敵なBGMの流れる大人な雰囲気のレストランでゆっくり食事を楽しんでから水族館に...
 いざ出発!!! 入り口で迎えてくれた青空を羽ばたくごとく泳ぐアシカは大迫力で、
 目の前に広がる色彩豊かな海の生き物に抱かれているような海中散歩を楽しみ、
 特別なひと時を過ごしてきました



ボランティア協力 のお願い

10月29日に行われた「東日本大震災ふれあい義援金バザー」では、
 多くのボランティアの皆さんにご協力頂き誠にありがとうございました。
 足立あかしあ園では、日常の作業・活動のお手伝いや、
 園行事に参加していただけるボランティアさんを大募集しています!
 初めての方でも大歓迎です。ご興味のある方、是非ご連絡ください!!
 利用者&職員共々、楽しみにお待ちしております!!

担当 松岡 橋本 河野 一真

お断り

顔写真と氏名の公表に
 つきましては、個人情報
 保護法により、皆さん
 からの了解をいただいて
 おります。(広報委員より)

今後の予定

12/22 忘年会
 29~1/4 冬休み
 5 通所開始日
 12 成人式

編集後記

肌寒く感じる季節になって来ました。
 気が付けば、今年も残すところあとわずか...
 これから徐々に寒さが増えて来ますが、
 体調管理に気を付けてこれからの季節も
 思う存分に満喫しましょう!

(荒井 記)

いっぴい

ふれあい 号

<発行> 社会福祉法人あいの福祉会 足立あかしあ園 東京都足立区青井4-30-5
 <編集> 広報委員会・Aグループ <発行責任者> 渡邊正人 TEL: 03(3849)1188 FAX: 03(3849)7001

「きずな」施設長 渡邊 正人



10月29日(土)実施の「ふれあい義援金バザー」には沢山の方々においで頂き、
 またご協力に感謝申し上げます。東日本大震災被災者への支援を
 目的に開催させていただきました。青井・加平小学校の児童の皆様には
 「笑顔」というテーマで絵を描いていただきました。どの作品も心もった色彩感覚
 豊かな内容で嬉しく感じました。震災から8ヶ月あまり過ぎましたが、冬に向かう
 被災地では復興計画を含め新たな支援が必要になると思います。

今回のバザーを通し復興支援につき、改めて考えていく機会となりました。地震、津波、
 放射能汚染、台風による水害と災害が続いていますが、どんな場面でも人による「きずな」
 の大切さが言われています。大きな困難に直面した時、人からかけられる温かい言葉は、
 心を励まし、一人ではないこと、支えられる自分であることが新たな一歩のあゆみとなります。

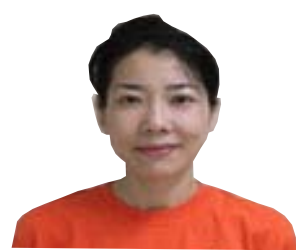
今回の「ふれあい義援金バザー」では被災地の障害者施設の方々のお力をお借りして、
 作品を販売することができました。東京都と東北と離れてはありますが、今後この繋がりを
 活かした交流を継続的にすすめていきたいと思います。あの地震発生以来、施設では
 災害対策について、法人内の防災担当者を集めた協議に参加し検討をすすめています。
 第二次避難所として指定を受けている当施設ですが、実際に発災後の対応力には大きな
 不安を抱えています。避難所を運営する場合は、避難をしている方々の大きな協力が
 必要となります。まさに、避難所が自助力を発揮し生活を支えることが求められます。
 地域に生活する区民の方と日常的に交流することが、「いざ」という時に大きな力を
 発揮することだと思います。区民の皆さんに「あって良かった。」と思っていただける
 地域社会福祉施設をゴールにあゆみを進めさせていただきます。「きずな」を大切に。

最新情報

新たに2名の方が入られましたので、
 ご紹介をさせていただきます。



いながき ともか
 名前 稲垣 智香
 所属 Dグループ
 やりたい事や好きな事
 音楽を聴く事、お買い物が好き。スノーボード、
 スキューバダイビングをしてみたい。



くりはら たみえ
 名前 栗原 民江
 所属 Dグループ
 やりたい事や好きな事 読書が趣味です。
 あとうだ たかし きし ゆうすけ
 阿刀田 高さんや貴志 祐介さんの作品が好きです。



東日本大震災 ふれあい義援金バザー

今回の「東日本大震災ふれあい義援金バザー」は「想いを届けよう」のコンセプトのもと行いました。
 近隣の小学校の児童の皆さんに描いていただいた20枚の「笑顔の絵」を掲示し、地域の方にも
 笑顔の絵を持参していただき、当日は笑顔であふれる会場になりました。

また風と共に私たちの思いを届けようという気持ちで、みんなで作成した150本の風車を会場に
 たくさん飾りました。晴天の中、想いの詰まった風車が応援パワーをのせて回っていました。
 被災地の施設自主生産品や企業商品購入による義援プロジェクトや日用品バザーによる
 売上金寄付プロジェクトなどを行いたくさんの方に、ご来園頂き被災地への強く熱い想いを
 様々な形で受け取りました。皆さんの想いは後日被災地協力団体へ責任を持ってお届けいたします。
 ボランティアの方々や関係の方々にご協力をいただきありがとうございました。

東日本大震災ふれあい義援金バザー実行委員長 飯島 祐実子



「被災地派遣報告」

10日間、宮城県石巻市を中心に被災地派遣へ行ってきました。
 石巻市と女川町の被災地へ視察に行きましたが、漁港などの沿岸部での
 被害の凄まじさを目の当たりとし、大きなショックを受け、震災より半年
 経過した現在でも、復興にはまだまだ時間が掛かることも改めて知りました。



被災地派遣では、石巻市にある障がい者施設Kの日中活動支援と移動支援に関わりました。
 施設Kもまた、津波により被害を受け、8月ようやく活動を再開した施設であります。

この10日間、支援という立場で派遣されましたが、慣れない生活で不安もありましたが、
 施設Kの皆さんを中心に温かく迎えて頂き、またともに支援した支援員の皆さんへ感謝の
 気持ちを胸に被災地派遣より帰ってきました。
 派遣は終わりましたが、今後とも被災地の復興を心から応援し続けたいです。(沢田 記)

「平成23年度 第1回目の避難訓練実施を終えて...」



東日本大震災から早くも半年以上の時間が経ちました。
 足立あかしあ園でもJDF(障害者フォーラム)という組織を通し被災地支援に職員が派遣され、
 大震災の現状を目の当たりにし改めて地震等の災害などに対する備えや考え方を
 見直す必要があると感じさせられました。そして今回『避難訓練』を実施しましたが、
 “今までよりもより現実的に!”と考へ、過去の訓練では行わなかった車椅子用非常時
 昇降機や非常階段での避難も一部実施しました。

今後は、職員だけでなく利用者の皆さんにもより『現実的な避難訓練』を体験・経験
 していただき万が一に備えていきたいと考えております。(熊田 記)



東日本大震災ふれあい義援金バザーの売り上げ240,081円でした。
 皆様の温かいご支援ありがとうございました。